

高等学校キャリア教育支援プログラム

# 職業キャリア教育



全国専修学校各種学校総連合会 近畿ブロック協議会  
一般社団法人大阪府専修学校各種学校連合会

## 01 働くことって何？

働くことの目的意義や職業観について考える

## 02 職業人として知っておきたいこと

職業人の概念と職業人に必要なものを知る

## 03 職業人の心構えとして知っておきたいこと①

職業キャリアマインドを知る

## 04 職業人の心構えとして知っておきたいこと②

常識としての職業キャリアマインド

## 05 職業キャリアマインドって何？①

個人としての責任を果たすために

06 職業キャリアマインドって何？②

組織・社会の一員としての責任を果たすために

07 働くことと社会の関係は？

社会における職業の意味について考える

08 働くことと自分の関係は？

職業選択とキャリアプランについて考える

09 基礎的な勉強の大切さ

基礎的な学習が求められる仕事を知る

10 一つの仕事に関わる多くの人々

チームワークが求められる仕事を知る

学習の必要性の認識促進

チーム意識の喚起

職業キャリアのキーワードをチェックしよう！

▼職業キャリア検定

全10回の学習の成果を測定。全回の確認テストに取り組むことで受検可能。得点状況によって級位(3～1級)を授与。キーワードに関する択一式を中心にしながら、ケーススタディ式も出題。

14

13

12

11

10

09

# 01

職業キャリア  
マインドの  
喚起

## 働くことについて何？

—働くことの目的意義や職業観について考える

働くことの意味、そして  
職業・職業観って何？

人はなぜ働くのでしょうか。

人間は、言語を持ち、思考し、想像し、創造や発明もできる存在です。そして、人類の歴史において、発明は技術を生み、技術は生産をもたらし、流通や販売を通して産業を展開してきました。ここに、人が働くという行為が生まれるのです。新たな技術によって新たな産業が興り、そこに**仕事**が生まれ、**職業**が定義され、**職業観**が形作られます。そして、この職業観が、個人がどう働くかということの基礎になります。

そこで、人が働くことの目的や意義について、次に考えてみましょう。

### 職業の3要素



職業の3要素——社会性・経済性・個人性

これらの優先順位や組み合わせ方が職業選択を左右する

#### Case Study!

#### 日本人の職業観

仕事は、お金を稼ぐだけでなく、嬉しい楽しい行為でもあります。日本人は昔から、報酬でなく働き甲斐に、仕事の喜びを見出してきました。先輩と後輩は先生と生徒のような関係で、先輩は技術や知識を教えて後輩を育ててきました。つまり、日本人にとって仕事は、お金を得る手段である前に、人を成長させてくれるものという考え方が昔から根づいているのです。このような日本人の職業観は、終身雇用や年功序列の制度の崩壊と共に薄れつつありますが、働き甲斐を重視する考えは今も息づいています。

人が働く目的は、社会性、経済性、個人性の3つの観点から考えられます。これらは**職業の3要素**と言われます。社会的な役割や責任を果たすために働く（社会性）。生活等の糧になるお金を稼ぐために働く（経済性）。自分の可能性を引き出して自己実現のために働く（個人性）。この3要素のどれを大切にするかは人によって異なります。歳の取り方や、仕事を続けていくことでも、自分が大切に**する3要素のバランスは変わってきます**。そして、そのバランスによって**職業観も変わってきます**。

>>> 内容を理解して個々の用語の意味も調べたら**確認テスト01**に取り組もう！ <<<

# 02

職業キャリア  
マインドの  
喚起

## 職業人として

### 知っておきたいこと

— 職業人の概念と職業人に必要なものを知る

職業人って何？ そして  
職業人に必要なものは？

どんな仕事であれ、学校や家庭の保護から自立して実社会で生活する人を**社会人**と言います。そして、社会の一員として自立した生活を営みながら、仕事を通して社会に参加して貢献する人を**職業人**と言います。職業人は、自分や所属する組織、さらに社会のために仕事をすると同時に、そのような職業経験を積むことで**キャリア**を形成します。職業経験を積み重ねるためには、職業人に求められる心・技・体を備えておく必要があります。そこで、職業人に必要なものが何かを知っておきましょう。

職業人に必要な心・技・体  
それは、マインド・知識スキル・健康



キャリアは「人生における様々な役割や自分の価値の積み重ね」であることから、**職業キャリア**は「仕事や職業を通して経験を積み重ねながら、自分の役割や価値を見出してゆく営み」と言えます。職業人は必ず、自分の在り方を組織や社会との関係性で捉えます。そのような職業人は、周囲とうまく協調しながら自分の実力を発揮できます。また、組織や社会から必要とされる、職業人の心・技・体を兼ね備えた人材と言えます。

Pick Up!

#### 職種・職区分

企業における「職」の呼称は、幾つかの区分に基づき、一般に次のように整理できます。

【組織上の階層区分】  
下から**一般職・監督職・管理職**（初級・中級・上級）  
経営職

【組織上の区分】  
事務職（一般・経理・総務・人事・営業アシスタント等）  
販売職・営業職・技術職・現業職・企画職等

【女子のキャリア形成上の区分】  
一般職（勤務地・職種を一定の範囲内に限定）  
総合職（その企業の中で制約なくキャリア形成）

>>> 内容を理解して個々の用語の意味も調べたら **確認テスト02** に取り組もう! <<<

# 03

職業キャリア  
マインドの  
喚起

## 職業人の心構えとして

### 知っておきたいこと①

— 職業キャリアマインドを知る

職業人としての心構え  
職業キャリアマインド

職業キャリアは、要約すれば「職業人における仕事面での人生形成」です。そこで求められるのが、職業人の心・技・体であるマインド・知識スキル・健康です。特に職業人の心マインドは大切に、職業キャリアを積み重ねる際の基盤になる意識・心構えで、**職業キャリアマインド**と言います。これは、皆さんが企業等の組織で「近頃の新人と違う！」と評価されるためにも欠かせない要素です。職場では、服装・振舞等の見た目も大切ですが、仕事に対する意識や心構えはそれ以上に重要です。  
そこで、この職業キャリアマインドの考え方を知っておきましょう。

### 職業キャリアマインド



職業キャリアマインド

それは、職業面での人生形成の基盤になる意識・姿勢

Case Study!

#### 独善に陥らない

体調が悪いAは、明日までに仕上げなければならぬ資料の準備に追われていました。先輩が声を掛けると、「大丈夫です、我慢できます」と返答。このやりとり上司はこう言いました。「Aの責任感はあるが、体調が悪いと良い資料は作れない。早めに薬を飲むか、病院に行くべきであった。もっと早く申し出てくれていれば別の方法も考えられた」。このように自分の責任をまっとうできても、組織として最適であったかを考えることが、職業人には必要です。

職業人は、本人の意思に関係なく一人の**プロフェッショナル**として様々なことが求められます。そこで職業人であることはどういうことでしょうか。それを考える基礎になるのが職業キャリアマインドです。この職業キャリアマインドは、大きく分けて「職業人としての**社会的役割と責任**」「**組織秩序**の維持に寄与する考え方」「**職業観・労働観**」「**主体性・達成志向・目標設定**」という4領域に整理できます。

# 04

職業キャリア  
マインドの  
喚起

## 職業人の心構えとして

### 知っておきたいこと②

— 常識としての職業キャリアマインド

職業人の常識としての  
職業キャリアマインド

いかなる職場であれ、職業キャリアマインドにおける最も基本的な考え方は**コミュニケーション**の重視です。ここで言うコミュニケーションは、単なる会話ノウハウでなく、敬意・誠意・配慮等を伴った意思疎通や情報伝達です。職業人コミュニケーションの代表例に、**報告・連絡・相談**（ホウレンソウ）があります。そこには仕事上のテクニクという側面もありますが、相手への敬意や配慮が欠けていては、的確な報告や連絡はできません。

ここでは、職業人の常識とも言える職業キャリアマインドの基本を押さえます。

職業キャリアマインド

それは、職業人としての責任を果たすための心構え



〈報告・連絡・相談〉等は、職業人であれば誰もが押さえておくべき常識としての職業キャリアマインドです。そして、それは「職業人マナー」と「職業人ベシックコミュニケーション」に分類されます。各々の言葉が示すもの内容や、それらが実際の職場でどう展開されるかを、自分が志望する職業分野に照らして考えてみましょう。

Pick Up!

**報告・連絡・相談**  
報告・連絡・相談は、仕事におけるコミュニケーションの基本です。報告は、上司の指示に対し、部下が任務の経過や結果を伝えることです。連絡は、電話の伝言等に代表される情報の伝達で、情報共有のために速やかな対応が求められます。相談は、仕事の問題を解決するために、上司や先輩または専門家に助言を求めることです。的確な報告や連絡は、仕事を正確かつ円滑に運ぶだけでなく、ミスやトラブルを未然に防ぎ、仕事の効率を上げることにつながります。

>>> 内容を理解して個々の用語の意味も調べたら **確認テスト 04** に取り組もう! <<<

# 05

職業キャリア  
マインドの  
喚起

## 職業キャリアマインド

### つて何？①

— 個人としての責任を果たすために

個人としての  
責任を果たすための  
職業キャリアマインド

例えば介護福祉士は、介護施設等で専門の知識や技術を用いて要介護者をサポートし、収入を得ている職業人です。彼らは、「プロフェッショナル」である誇りを持って常に真剣に職務に当たり、スキル向上のために日々切磋琢磨しています。

このように、仕事の対価として収入を得ている職業人は皆、プロフェッショナルです。彼らには、**プロ意識**という職業人としての責任を果たすための職業キャリアマインドが求められます。

そこで、職業人の心構えとしての職業キャリアマインドには、どんなものがあるかを知っておきましょう。

#### ●既に身につけておきたい職業人マインド

愛情 誠実 感性 理性 自立 自律 勇気 意欲

ほくが  
支えになる!



何でも  
相談して  
ください

#### ●成長と共に身につけたい職業人マインド

倫理観 使命感 責任感 協調性 積極性  
チャレンジ精神 公平・公正 探求心  
リーダーシップ プロ意識 誇り 自覚  
セルフマネジメント力 品性 礼節 節制  
安らぎ 共感 尊敬 奉仕

職業キャリアマインド  
個人として責任を果たすために身につけておきたいこと

Pick Up!

#### 自律

〈自律〉は「他からの支配・制約等を受けず、自分が立てた規範に従って行動すること」を意味します。この〈自律〉という職業キャリアマインドを備えた職業人は、仕事の一つ一つについて細かく指示されなくても、自分がやるべきことを自分で考えて行動でき、新しい価値を創造できます。そして、チームワークの重要性を認識し、「責任」しながら「義務」や「責任」も果たせる人材です。このような職業人は、「時間管理や段取り」「意欲の維持や高揚」「他者との協働」をうまく管理できる**セルフマネジメント力**を備えた人材と言えます。

「プロ意識」等の職業キャリアマインドは、次の06で見る「組織・社会の一人としての責任を果たすための職業キャリアマインド」と対比的に、個人としての責任を果たすための職業人マインドです。それは「既に身につけておきたい職業キャリアマインド」と「成長と共に身につけたい職業キャリアマインド」に分類されます。各々の言葉の意味を一つ一つ確認し、それらが職業キャリアマインドとしてどう大切かを、自分が志望する職業分野に照らして考えてみましょう。



# 06

職業キャリア  
マインドの  
喚起

## 職業キャリアマインド

### つて何？②

— 組織・社会の一員としての責任を果たすために

組織・社会の一員としての責任を果たすための職業キャリアマインド

組織の仕事は一人でできません。自分がリーダーになって会社を率いたとしても、一人でできることには限界があります。また、自分の最適化が必ずしも組織全体の最適化につながるわけではありません。そこで、会社等の組織に所属する全ての人に、**規律に従って服務する姿勢**、**帰属する意識**、**組織への忠誠心**等のマインドが求められます。

社会との関係についても同様です。社会の一員として仕事を進めるためには、**法令遵守**・**文化伝統の継承**・**社会貢献**・**危機管理**・**国際理解**・**地域連携**等、**組織**・**社会**の一員としての責任を果たすための職業キャリアマインドが求められます。

職業キャリアマインド

組織や社会の一員として責任を果たすために必要なこと



Pick Up!

#### 帰属意識

〈帰属意識〉は「ある集団に自分が属している意識、その集団の一員であるという意識」を意味します。この〈帰属意識〉を備えた職業人は、自分の属する組織が何をどう進めようとしているかを常に考え、その方向性を理解できます。また、他の構成員と接すること的魅力を感じながら、組織の中で自分を成長させられます。このような職業人は、自分の利益だけでなく、組織全体の利益を第一に考えて行動できる、**協調性**を備えた人材と言えます。

「忠誠心」等の職業キャリアマインドは、前の05で見た「個人としての責任を果たすための職業キャリアマインド」と対比的に、組織・社会の一員としての責任を果たすための職業人マインドです。それは「組織との関係で身につく職業キャリアマインド」と「社会との関係で身につく職業キャリアマインド」に分類されます。各々の言葉の意味を一つ一つ確認し、それぞれが職業キャリアマインドとしてどう大切かを、自分が志望する職業分野に照らして考えてみましょう。

>>> 内容を理解して個々の用語の意味も調べたら **確認テスト06** に取り組もう! <<<

# 07

職業キャリア  
マインドの  
喚起

## 働くことと社会の 関係は？

— 社会における職業の意味について考える

職業は社会において  
いかなる意味を持つか

近代以降、**産業発展**や**技術改良**で**分業化**が進み、各々の作業は簡単になりました。しかし、分業された一部門がストップしてしまうと、**社会全体**に影響が及ぶようになります。例えば、山中の発電所の故障は、都会の電車を止め、会社・学校等に通う人々の足を奪うなど、その影響は計り知れません。つまり、**複雑化した社会の一部**を担う職業は、それがいかに目立たないものでも、その価値や重要性に変わりはないのです。個々の職業は全て、この複雑化した社会のどこかに必ず位置づけられ、**社会活動の進展**に寄与しています。



職業と社会の関係

それは、社会が仕事を生み、仕事が社会を成すことの循環

産業発展 技術改良 分業化  
社会 社会活動 社会貢献 企業 組織  
少子高齢化 グローバル化

Case Study!

### 社会貢献

個々の仕事は、実は皆つながっています。例えば注射器は、針・シリンダ・キャップ等の細かいパーツから成ります。それらのパーツは当然、各担当によって作られます。各原料からパーツが製作され、組み立てられ、薬品が注入され、病院に運ばれ、患者に使用されます。それが病人を回復させ、時に人の命を救います。こうして個々の仕事は大きな成果を挙げます。個々の仕事が相互に関連性を持ちながら、全体で社会に大きく貢献しているのが、社会における職業です。

**社会貢献**する産業が成長し、成長する企業にこそ仕事が生まれます。そこで、現代における日本社会への貢献とはいかなるものでしょうか。原発事故からの復旧には再生可能エネルギーの開発が必要です。**少子高齢化**が進めば医療・福祉分野の市場が拡大します。**グローバル化**によって観光が活性化することも予測できます。このように、日本は今、エネルギー、医療・福祉、観光分野等を成長させようとしています。そこで必要とされるモノやサービスは何か。働くことの意味を考える時、変化する社会も決して無視できない要素です。

# 08

職業キャリア  
マインドの  
喚起

## 働くことと自分の 関係は？

— 職業選択とキャリアプランについて考える

職業選択、キャリアプラン  
そして、私の進む道

私たちは自分の職業を、01で見た職業の3要素——社会性・経済性・個性の優先順位の付け方や組み合わせ方のバランスで決めます。しかし、たとえば個性を重視して**職業選択**を行ったとしても、どんな職業も社会を無視しては決して成り立ちません。つまり、個人の**キャリア形成**は、まず社会の側面から考える必要があるのです。「私の進む道」は、**キャリアプラン**を描くことから始まります。それは、職業選択によって大きく変わります。ここでは、社会をいかに理解し、自分をどう認識するかが重要です。そのプロセスを検討してみましょう。

キャリアプラン  
それは、職業選択を通じたキャリア形成の営み



Pick Up!

### キャリアプラン

〈キャリアプラン〉は「職業選択を通じたキャリア形成の計画」を意味します。このキャリア形成の過程には次の6段階があると言われます。①社会事象や職業・進路などの種類や内容を知る（社会理解・職業理解）。②キャリア形成における自己に関する理解を深める（自己理解）。③選択や意思決定の前に職業体験を試みる（啓発的体験）。④選択肢から自分の進路を選択する（キャリア選択）。⑤進路・職業の選択や能力開発の方向などで意思決定をしたことを実行する（方策実行）。⑥新しい仕事に適応する（職業への適応）。

職業と自分の関係において、自分の「知識・経験」「能力・特性」「希望・志向」の3領域に重なる職業があれば最適でしょう。まず、自分で把握しやすいのは、自分の経歴である「知識・経験」です。それに対し、「能力・特性」は、自分で客観的に見つけることが難しいものです。また、「希望・志向」は自分の関心事であり、自分でわかっているつもりでも、他者から見ると違っているなど、自分で把握しにくいものです。そこで活用したいのが**職業適性検査**等の**自己分析**です。このような診断を活用することも職業選択の大切なプロセスになります。

>>> 内容を理解して個々の用語の意味も調べたら **確認テスト08** に取り組もう! <<<

# 09

学習の必要性の  
認識促進

仕事における基礎的な  
学習の大切さを知る

**基礎的な学習**は、様々な意味を含みます。それは、まず基礎的な知識を身につけることで、職業人に必要な**思考・行動・自律の基盤**になります。自分の仕事を理解しようとする積極的な姿勢や意欲も、基礎的な学習や勉強から生まれるものです。これは多くの仕事に共通することで、基礎の必要性を十分に認識することが、職業キャリアの形成に不可欠です。例えばIT系の開発職では、基礎的な知識や技術があつて初めて開発できるよつになります。したがつて、具体的な知識の前に、まずは学習の大切さをしっかりと理解することが重要です。

## 基礎的な勉強の大切さ

— 基礎的な学習が求められる仕事を知る

基礎的な学習

それは、職業人に必要な**思考・行動・自律の基盤**



例えば、IT系の開発現場では、顧客の求めるシステムを構築するため、まず顧客の事業の社会的役割やそのシステムがどう使われるかを等推論します。この**推論**に基づき、一定の時間内にどの程度の処理能力が必要かを**計算**し、その結果を十分に吟味した上で、明確な根拠から必要な機能を用意することになります。こうした仕事の組み立て方がいかに大切かを、自分が志望する職業分野に置き換えて考えてみましょう。

Case Study!

### 論理思考

あるスーパーマーケットで、各々のレジで個別に記録していた売上データを一括で管理する、新たなシステムの必要性が浮上しました。新システムを検討するチームは、まず、ピークの時間帯と普段の時間帯で、一定時間に何人の会計をこなす必要があるかを観察しました。次に、そこから処理すべきデータ量を計算し、費用や開発期間のパランスを見てシステムに最適な要件を決定しました。この明確な根拠に基づく説明により、店の経営者側も即座に納得し、導入に至りました。

# 10

チーム意識の喚起

## 一つの仕事に関わる

## 多くのの人々

— チームワークが求められる仕事を知る

仕事におけるチームワークの大切さを知る

例えば、病気や怪我が治った患者を社会復帰させるリハビリの現場では、医師や看護師・理学療法士・社会福祉士等、多くの人が一人の患者を担当します。各々の仕事は異なりますが、患者の社会復帰のためにはいずれのサポートも必要です。つまり、多くの職業人の尽力により、患者の社会復帰は成し遂げられるのです。

このような現場では**チーム意識**が重要で、**チームワーク**を形成できねば、仕事はやり遂げられません。**協調性**を持つことが基本ですが、チームの中心として関わる場合は**リーダーシップ**を發揮することも求められます。

チームワーク

それは、仕事を達成するために不可欠なエネルギー源



Case Study!

### 情報共有

Aは、患者Bのリハビリを担当する理学療法士です。Bは、病で倒れてから食べ物や普通に飲み込めなくなったため、胃にチューブを付けてそこから栄養剤を入れていきます。Aは、いつものようにBをリハビリ室に連れて行き、リハビリを行っていました。ところが、その日は胃のチューブを交換する日で、Bはリハビリを行っていたため診察時間に遅れてしまいました。Aのチームで情報共有を常時しっかりと行っていたら、このような失敗はありませんでした。

チームワークを形成するためには、チームのメンバーとコミュニケーションを図ることが不可欠です。そして、他人を思いやって協調性を持つこと、相手を尊重する**対人作法**を身につけることも重要で、これらがあって初めて**チーム意識**がチーム全体に生まれます。

このような用語や考え方について、その意味を一つひとつ確認し、それらがチームワークを發揮する際にどう大切かを、自分が志望する職業分野に照らして考えてみましょう。

>>> 内容を理解して個々の用語の意味も調べたら **確認テスト10** に取り組もう! <<<

# チェックしよう!

職業キャリアに関する学習では、用語・概念の理解が大切です。  
言葉の理解が意識を喚起するからです。  
キーワード一覧で、01～10で学習した用語・概念を確認しましょう。

## ▼ 06 職業キャリアマインドって何? ②

- 服務
- 規律
- 帰属意識
- 忠誠心
- 法令遵守
- 文化・伝統継承
- 社会貢献
- 危機管理
- 自然保護・環境保全
- 国際理解
- 地域連携

## ▼ 07 働くことと社会の関係は?

- 産業発展
- 技術改良
- 分業化
- 社会活動
- 社会
- 企業
- 組織
- 少子高齢化
- グローバル化

## ▼ 08 働くことと自分の関係は?

- 職業選択
- キャリア形成
- キャリアプラン
- 適性
- 強み
- 弱み
- 性格
- 価値観
- モチベーション
- 職業適性検査
- 自己分析
- 志望動機

## ▼ 09 基礎的な勉強の大切さ

- 基礎学習
- 思考 (考える力)
- 行動 (行う力)
- 自律 (律する力)
- 論理思考
- 推論
- 知識
- 計算
- 主要5教科
- 一般常識

## ▼ 10 一つの仕事に関わる多くの人々

- チーム意識
- チームワーク
- リーダーシップ
- フォロワーシップ
- 対人作法
- 情報共有

# 職業キャリアのキーワードを

## ▼01 働くことって何？

- 働く       仕事       職業       職業観       職業の3要素

## ▼02 職業人として知っておきたいこと

- 社会人       職業人       キャリア       職業キャリア       マインド  
 知識スキル       健康       職種・職区分       一般職       総合職  
 監督職       管理職       経営職       事務職       販売職       営業職  
 技術職       現業職       企画職       経理       総務       人事

## ▼03 職業人の心構えとして知っておきたいこと①

- 職業キャリアマインド       プロフェッショナル       社会的役割       責任  
 組織秩序       勤労観       主体性       達成志向       目標設定

## ▼04 職業人の心構えとして知っておきたいこと②

- コミュニケーション       報告       連絡       相談  
 マナー       言葉遣い       振舞

## ▼05 職業キャリアマインドって何？①

- 愛情       誠実       感性       理性       自立       自律       勇気  
 意欲       倫理観       使命感       責任感       協調性       積極性  
 チャレンジ精神       公平・公正       探究心       リーダーシップ  
 プロ意識       誇り       自覚       セルフマネジメント力       品性  
 礼節       節制       安らぎ       共感       尊厳       奉仕

# 学習の記録

学習回	学習日	学習進捗	確認テスト	学んだこと・気がついたことなど
01	月 日	完了・学習中	点	
02	月 日	完了・学習中	点	
03	月 日	完了・学習中	点	
04	月 日	完了・学習中	点	
05	月 日	完了・学習中	点	
06	月 日	完了・学習中	点	
07	月 日	完了・学習中	点	
08	月 日	完了・学習中	点	
09	月 日	完了・学習中	点	
10	月 日	完了・学習中	点	

各学習回の確認テストに全て取り組んだら……

## 職業キャリア検定 受検！

級	学習対象領域	認定基準
3級	01～08 職業キャリアマインドの喚起	○該当学習領域における確認テスト実施率100% ○職業キャリア検定受検
2級		○3級条件満足 ○該当学習領域における知識系問題の正答率60%以上
1級	09 学習の必要性の認識促進 10 チーム意識の喚起	○2級条件満足 ○該当学習領域における知識系問題の正答率60%以上

お問い合わせ



大阪の専門学校

一般社団法人

大阪府専修学校各種学校連合会

〒534-0026 大阪市都島区網島町6番20号

TEL: 06-6352-0048 FAX: 06-6352-7553

URL: <http://www.daisenka.or.jp/> mail: [info@daisenka.or.jp](mailto:info@daisenka.or.jp)